



子どもの医療費が 18歳まで無料に!

所得制限、一部負担なし、2026年6月から



▲市長へ「所得制限なし18歳までの対象引上げ」を要望(2025年8月26日)

横浜市の小児医療費助成事業は、1992年に公明党が乳幼児医療費の無償化を初めて提案したことを契機に1995年にゼロ歳児を対象としてスタート。

その後、対象年齢の拡大や所得制限の緩和を重ね、2023年には中学3年生までの完全無償化を実現。引き続き18歳までの対象拡大を訴え、2025年8月には市長への要望書を提出。翌月の議会で市長より2026年度内の実施方針が示されました。

公明党が一貫して取り組み、30年以上積み上げてきた小児医療費助成事業が、一つの完成形を迎えます!

品 小児医療費助成の拡充へ

公明党市議団の歩み

- 1992年 横浜市会で初めて無償化を提唱
- 1995年 0歳児の通院・入院が無料に

2007~19年 就学前児童→中学3年まで対象を拡大

2023年 所得制限と一部負担を撤廃

2026年6月 18歳までの医療費を完全無償化へ!

高齢者の「もしもの時」を支える

「ヨコハマあんしん登録」制度

「ヨコハマあんしん登録」

詳細はこちらから ▶



ヨコハマあんしん登録

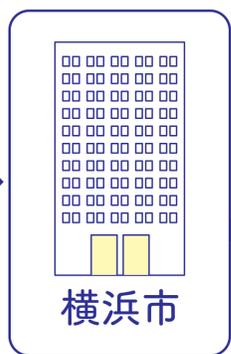
検索

身寄りがないなど高齢者の不安に寄り添う支援の充実へ、公明党市議団が要望してきた「ヨコハマあんしん登録」事業がスタート! 区役所のネットワークに①緊急連絡先、②かかりつけ医療機関、③エンディングノートの保管場所、④葬儀・納骨などに関する生前契約等の情報を登録し、病気や事故で意思表示が困難な場合に、警察、消防、医療機関等が照会。ご本人の意思を尊重した対応を行おうとするものです。65歳以上の横浜市民は誰でも無料で登録可能です。

登録希望者



登録



横浜市

照会

開示



警察・消防・医療機関 など

ご本人の意思を反映することにつながります。